

# 牛久：学校周辺に見る自然

第52号 中根小，ひたち野西近隣公園，牛久自然観察の森

2011年1月30日発行

## <冬の校庭観察～鳥>

1/27(木)、中根小4年生の皆さんと「校庭の生き物たちの冬越し」を観察しました。今回は冬鳥（秋に日本にやって来て寒い冬を越し、春になると北国へ帰る鳥）を中心に紹介しましょう。（中根小校庭で目にするが観察中に現れなかったり写真に撮れなかったものは他で撮ったもので補います。）

### ①冬鳥 ツグミ(ツグミ科) カシラダカ(ホオジロ科) ジョウビタキ(ツグミ科)



校庭や公園に来る冬鳥で、一番よく見かけるのはツグミではないでしょうか。木の上だけでなく、写真のようによく地上に降りてミミズや昆虫類を食べます。（写真は1/11、ひたち野西近隣公園にて撮影）



留鳥（一年中日本にいる）のホオジロに似ていますが、尾が短く、また名前の由来となっているように冠羽かんうと呼ばれる頭の羽が立っていることで区別できます。（写真は1/11、ひたち野西近隣公園にて撮影）



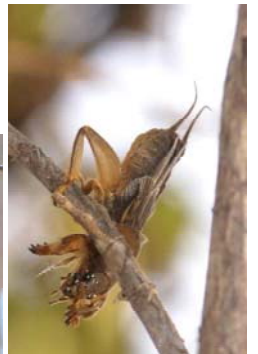
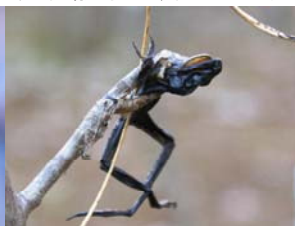
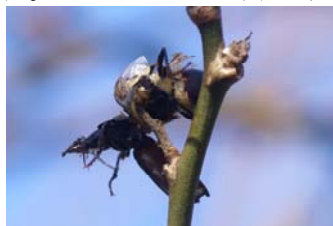
比較的低い木の枝などにとまって、昆虫などエサを見つけると降りて食べます。ムラサキシキブなどの木の実も食べるそうです。（写真は1/21、牛久自然観察の森にて撮影）

### ②国内を季節的に移動する留鳥 モズとはやにえ



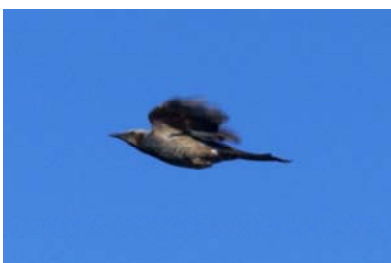
他の鳥の鳴きまねがうまいので「百舌」と名づけられたようです。肉食でくちばしが鋭く、昆虫やカエルだけでなく、ネズミやヘビまで食べます。冬にはエサ不足のためか、木の実も食べるようです。秋（～冬）に、捕えた獲物を木の枝などに串ざしくしざしにしておく習性があり「はやにえ」と呼ばれますが、なぜこのような行動をするのかは分かってないようです。（上のモズの写真は1/27、稲敷市民農園にて。）

「はやにえ」の写真は左から甲虫：2010/1/14中根小，カエル：2010/12/29つくば市，ケラ：2010/12/7ひたち野西近隣公園にて撮影）



### ③留鳥（一年中、国内にいる）

左から観察中横切ったヒヨドリ、電線にムクドリ、サクラにシジュウカラ



【理科支援員

・  
みやうち  
宮内】